

明和町小学校区編制にかかる基本計画（案）第3回住民説明会 主な質問・意見等に対する回答

①教育面について

＜質問・意見等一覧＞

⇒

＜回答＞

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • 学校が無くなることで地域との繋がりが薄れていくのでは、との声があるが、それを繋いでいくものがコミュニティスクールかなと思う。ただし、ここにいる皆さんがコミュニティスクールに関する理解が少ないと思うし、多気郡の中にもコミュニティスクールに取り組んでいるのは、一部の学校のみ。開校までに、どんな中身で進めていくのか煮詰め、開校までにお示しいただきたい。学校に協力してくれる人材が見つからないと、中々実績をあげるのは難しいので、人材確保の協力体制も進めていく必要があると思う。 | <p>コミュニティスクールについても準備委員会の中でしっかり議論していきます。令和8年度の再編小学校開校以降の明和町における教育を支えていただけるような先生方にも準備委員会の一委員として入っていただけるよう、各学校と連携をとり進めていきます。また、準備委員会等の進捗に合わせ、校区再編対象地域への住民説明会を随時実施していきます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> • 17、18人くらいのクラスは先生が目が行き届きやすいため、偏差値が65くらいある学校もあると聞く。教育レベルは、大きな学校を造るより少人数クラスの方が高くなると思う。 | <p>学校全体では複数クラスを維持することでクラス替えが可能となり、児童がより多くの方と接する機会を提供することができ、学校の特質である「集団の中で多様な考え方に触れる」、「互いを認め合う」、「互いに協力し合い、切磋琢磨する」といった環境が整えやすくなります。また、いじめ等があった場合にも対処がしやすくなります。一方で、クラス単位では少人数体制をとることで、一人ひとりに目が行き届きやすく、きめ細やかな教育が可能となる体制を維持していく必要があると考えています。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> • PPPやPFIについて、詳細の説明をお願いしたい。「公共サービスの提供を民間主導で行う」ことについて、不安を感じます。従来の、国により定められる「学習指導要領」に基づいた教育が展開されるよう、一面からの偏った捉えにならない、公共性を保った教育活動が展開される保障をお願いしたい。 | <p>もしPFI方式で整備することとなった場合は、民間企業の資金やノウハウを活用して施設を整備していくこととなります。ただし、学校教育の運用部分については民間企業が主導で行うことなく、これまで通りの運用をしていきます。</p> |

②校区編制について

＜質問・意見等一覧＞

⇒

＜回答＞

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • 修正小学校の再編について、具体的にいつ頃という話はあるのか • 修正小学校の編制について、具体的にいつ頃の再編なのか教えていただけるのか。これから当事者となる就学前の保護者や児童の不安が、スケジュールが決まることで少し和らぐ部分もあると思う。 • 修正小学校はとても環境の良い場所にある。津波も修正小学校までは来ないだろう。校舎や体育館もあるし、山や田んぼもあるので、いくらでも校舎を増築できる。第1期再編小学校を建てると40億くらいかかると思う。であれば、修正小学校を増築した方が効率的ではないか。 | <p>修正小学校は既に複式学級化しており、令和4年度には複式学級が2クラスできる見込みです。このような状況なので、地域の方などと協議を重ねて再編方針を固めた上で、修正小学校については令和5年度もしくは令和6年度の再編を考えています。</p> <p>また、修正小学校に関しては町内の学校の中では比較的新しく、また津波等の心配もありません。ただし、修正小学校を増築等により再編小学校として活用する場合は、グラウンドや校舎の敷地が足りず、新たな用地を求める必要があり、大淀小学校の耐用年数の切迫や町行政の財政状況等から適切ではないと判断しました。修正小学校については、児童数の推計を基に斎宮小学校もしくは明星小学校へ再編する計画とし、地域の方々を含めたいろんな意見を踏まえた中で、この地域に適した有効な跡地利用を検討していきます。なお、町の財政状況は厳しい状況であるため、民間活力を活用したPFIによる整備など、経済性や効率性を求めた建設手法を検討していきます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> • 老朽化が理由であれば、とりあえず耐用年数を迎える大淀小学校だけを建て替えてはどうか。コロナ禍であり、今後、学校の在り方が変わってくる可能性があることを前回は話したはず。また、大淀小学校以外は耐用年数から10数年大丈夫なはず。なんとか学校をこの地域に残してもらおう形で、子どもたちも守れるものにしてほしい。 • 大淀小学校だけ補強する予算を確保していただき建て替えを。その後、次の耐用年数である上御系小学校まで15年くらいある。その間に校区編制は考えましょう。そういう検討はできないのか。 • 少人数化対策は学校を移転再編しなくてもできることがあると思う。 • 津波対策は学校を移転再編しなくてもできることがあると思う。 | <p>1学年あたり複数クラスの教育環境の提供を考えた際に、現状、大淀小学校だけ建替えることは難しいです。老朽化した学校施設の改修だけではなく、単独クラスとなっている教育環境の改善、さらに津波対策のためハザード区域外への学校施設の移転が校区を再編する大きな理由としています。</p> |

③学校選択制について

＜質問・意見等一覧＞

⇒

＜回答＞

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • 学校選択制における特別な事情がある場合の区域外通学の許可は誰が判断するのか。個別で申請するのか。 | <p>区域外通学の申請を教育委員会へ提出いただき、事情を聞かせていただいた上で、区域外通学の許可基準に基づき個別で判断させていただきます。</p> |
|--|---|

④再編小学校の施設について

<質問・意見等一覧>

⇒

<回答>

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちや保護者の数が相当数になる。心配なのは危機管理の部分で、例えば台風の時。保護者が一斉に迎えに来る際に、学校の電話がバンバン鳴り、周囲も大渋滞するのでは。第1期再編小学校の建設時はうまく対応できるかもしれないが、第2期再編小学校がここへ建設した場合に渋滞等の心配があるので、周辺の道路整備などをお願いしたい。また、第2期再編小学校予定整備区域と第2グラウンドの間の畑を用地買収して地続きにしていれば、学校運営上や児童の感情などから運営しやすいと思う | <p>基本計画を策定後、今後第2グラウンド周辺の地権者へ相談に伺う考えです。今後、基本構想を策定していくための検討委員会を立ち上げ、学校関係者やPTAの方々等と検討していくので、様々な状況にも対応できるような学校運営が可能な施設を考えていきます。</p> |
|--|---|

⑤スクールバス、通学路について

<質問・意見等一覧>

⇒

<回答>

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度に東野、平尾地区から通学する児童は1人か2人くらい。第1期再編小学校から3km以内なのでスクールバスで通えないとすれば、1人か2人を徒歩で再編小学校まで行かせるのは危ない。その辺も考慮してほしい。 | <p>スクールバスについては、今後、準備委員会で詳細を協議検討していく予定です。その中で、様々な事情から再編小学校から直線距離で3km以内に居住する児童もスクールバスを利用していただくことも考えられます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> スクールバスについては結構経費がかかるはず。経費について、もう少し詳しくどのように考えているのか教えてほしい。町民バスが走っており。運転手の確保などいろんな問題も出てくるはず。 スクールバスを運行する際に、トイレの問題や、集合時刻に間に合わなかった場合の対応など、そういった問題にストレスを感じる児童も増えるのでは。これまでは各地域の近い所に学校があり、徒歩通学で様々なことに対応できていた部分もあるので、そういった所に保護者の心配もあると思う。何台のスクールバスを想定しておけば良いのか。一方、停留所等において交通指導をしていただけるような体制を整備していただければ、心配毎が一つ減るはずなので、宜しくをお願いしたい。 | <p>他市町でよく利用されているマイクロバスを購入する場合、1台あたり約800万円かかり、それ以外にも燃料費や点検費がランニングコストとしてかかります。スクールバスの運営について、バスを購入せず全て委託する方法もあるため、費用対効果を考えながら円滑に運用できる方法を準備委員会等で協議検討していきます。</p> <p>いなべ市に視察へ伺った学校は小中一貫教育とコミュニティスクールを実施しており、地域の方々の力を借りてスクールバスを運用している部分がありました。明和町も同様に、停留所までの徒歩通学の見守りなど地域の方々の力を借りつつ、適切な運用ができるように準備委員会等で検討していきます。なお、現時点での計画では大淀小学校、下御糸小学校の全児童をスクールバスの対象者としており、令和8年度時点でスクールバスの対象者は約200人の見込みです。バスの大きさにもよりますが、対象者数や停留所への集合時間等を考慮すると、マイクロバス約10台程度が必要と見込んでいます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> スクールバスは大変ありがたい話と思うが、菟村の通学路の要望について数年前から申請しているが、まだ未整備の部分が多い。まずは既存の通学路をきちんと整備してほしい。 もし修正小学校の児童が明星小学校へ通学することとなった場合、県道を横断して通学することとなるので、早急に、通学路の整備を並行して実施していただきたい。 | <p>徒歩通学の方のために安全対策は実施する必要がありますが、他の整備との兼ね合いから即座の対応が難しい場合もあります。校区再編により通学路も大きく変わるため、スクールバスだけでなく通学路も含めて準備委員会で検討してきます。</p> <p>また、今後修正小学校区の保護者や地域の方々とは再編に向けた協議の場を設け、その中で再編時期や校区割について今年度末には決定していく予定です。その協議の場や今後立ち上げ予定の準備委員会でも通学路を協議検討していく予定であり、通学路の決定と併せて必要な整備の検討をしていきます。</p> |

⑥防災面について

<質問・意見等一覧>

⇒

<回答>

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 津波避難タワーとして最低限のものとして残すとのこと。今、学校に備蓄されている水など相当あると思うが、避難タワーは少なく、現状では置けない。それを、どういう風にしていくのか。 | <ul style="list-style-type: none"> 大淀小学校の校舎は緊急津波避難施設として最低限利用できるようにしていく計画としています。ただし、実際に校舎をどのような残し方をするか、どう整備するかについては、今後調査を実施していく必要があります。その中で、学校に現在保管されている備蓄品については、旧校舎の津波に耐えうる階層以上の一画に保管するなど、調査と併せて検討していきます。 |
|--|--|

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 第1期再編小学校と第2期再編小学校がとても近いが、ここへ子どもたちを集める意図はあるのか。「地域を愛し」といった考えと少し離れる気がするがよいのか。学校を2つに分けることは良いと思うが、全部を1箇所に集めるのは新しいまち構想として本当によいのかなと感じる。 斎宮や明星地区で小規模な宅地開発ができていくが、各地域に学校があることが大きいと思う。1箇所に小学校を集めるメリットはあると思うが、一方で、用地買収はコストがかかるが、町全体のこれからを考えれば、明星、斎宮地区あたりに新しい学校を建てることも、メリットがあると思う。小学校が無くなっていくということで開発が進まず、人口の流れも他市町へ向っていくかもしれない。現在の旧23号線沿いには商業施設が結構あるが、住宅地の注目度が減ってくると将来的にそういった商業施設の撤退等にもつながると思うので、その辺りも含め、様々な取り組みをよろしくお願いいたします。 斎宮、明星の両小校とも立地条件が良く、通勤、買い物、銀行等が非常に便利で、低学年でも心身とも充実した小学校生活が過ごせている。他の市町村からも、この条件のために転入者が右肩上がりであり、今後も続くと思われる。一部徒歩地域は大変かと思うが、スクールバス等の対応で充分かと。斎宮小学校、明星小学校とも20年後も存続するのが当然かと思う。将来の子どもたちの為、良い判断をお願いしたい。 | <p>町内の小学校全てで小中一貫教育を実施していく予定であり、先生の行き来や児童生徒の交流といった観点からも、明和中学校や小学校同士が近くにあった方が良いと考え今回の計画としました。しかし、今後20年間の様々な事情により計画が変わる可能性があります。当然、各地域の文化やコミュニティを活かしていく施策を実施していく必要があります。今後設置予定の準備委員会や跡地利用検討委員会などでも検討していく予定です。また、当然ながら人口維持を図っていく必要があるため、明和町に住んでもらえるような施策は実施していかなくてはなりません。現在の斎宮小学校区や明星小学校区の人口増加は良い傾向なので、こうした状況を分析しながら施策を検討していきます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 新しい学校を造っていく事は前向きで良いと思うが、結局、跡地利用が一番大切。南伊勢町も小学校を統廃合しているが、どんな跡地利用しているか調査しに行かれたのか。津波が来た際の避難所として活用するとあるが、いつくるか分からない津波のために跡地をそのまま残し、維持管理をどのようにしていくのが凄く大事。津波の心配のある跡地に民間の会社が建物を建てにくるのは考えにくいかと。放ったらかしにしておくのと獣の住処になるのではと申し上げた記憶があるが、その辺りどうなのか。 | <p>南伊勢町は、小学校4校を1つに統合し、統合した新しい小学校は4校のうち1つの小学校を活用しています。残りの閉校となった3校のうち、2校は社会体育施設及び避難所兼防災備蓄倉庫としてそれぞれ活用しており、残る1校は未定とのことです。明和町として、その地域に適した跡地利用をしたい思いがあるので、維持管理の方法も含め、跡地利用検討委員会等の中でしっかり協議検討していきます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 明和町の目標として「和のまち明和 住みたい 住み続けたい 豊かなところを育む 歴史・文化のまち 明和」とあり、基本構想で「みんなで作るまちづくり」を掲げている。小学校を無くすことは、この言葉に相反するのではないか。ここ数年スーパーや農協、百五銀行が無くなり、住民の方から「非常に不便になった」という意見が出ている。どんどん過疎になっていく雰囲気がある。これで小学校というキーになる建物が無くなった場合、ますますコミュニティに良くないと感じる。明和町のまちづくりの構想について、どこかの企業を持ってくるのか、スーパーを持ってくるのか、そういう努力をしているのか。どんどん周りが過疎化していき中心部だけがどんどん集まるような感じがみえている。 小学校が無くなればどんどん過疎が進むということで、今後、大淀地区についてどうやってまちづくりを施していくのか、前回の説明会で伺ったところ、「町の計画に基づいて実施する」とのこと。具体的に教えてほしいので、次回までに返答ほしい旨を伝えましたが、まだ返答を頂けていない。返答いただけるのか。要は「これから考えていく」といった言い方であり、この基本計画を策定するまで、そういうことを考える必要があったことが分かっていたのではないか。地域独自のことや過疎化のことなど。それをこの前の説明会から言っている。そういうことを踏まえて考えないといけない、と言っている。小学校が無いところに誰が住むか、残された人たちはどうしたらよいのか。小学校は地域の核と思っている。小学校が集約され、大きい地域単位で考えていけば良いとのことだが、それはそうでしょう。しかし、そうした時に、大きい地域の中のこんな末端の地域まで、そういうものが行き届くのか。 移転再編決定する前に、大淀地区の街づくりビジョンや活性化方針を示してほしい。大淀地区は保育園、農協、百五銀行と相次いで撤退しており、地盤沈下を皆が危惧している。 | <p>明和町全体で目指すまちづくり構想として明和町総合計画に掲げています。現状、各小学校単位に様々なコミュニティがあり、各地域に適したまちづくりを考えていく必要があります。例えば、百五銀行の跡地にサテライトオフィスのように企業に入ってもらえないか、インターネット環境の整備を実施した大淀のキャンプ場を活かしたワーケーション等で人口増加を図れないか、といったことが考えられます。他にも様々な手法があると思うので、地域コミュニティを維持していくためにどうしていくか検討していく必要があります。</p> <p>また、コミュニティについては町行政だけでなく、地域の皆様も加えながら、いかにコミュニティを守っていくかを跡地利用検討委員会等において一緒に検討していきたいと思っております。現在は大淀、上御系、下御系の各地域という概念がありますが、これらの校区が再編され一つの校区となることで、これらで一つの地域という形が生まれると考えます。将来的には、みいとフェスタに大淀や上御系地区の子どもたちが参加したり、祇園祭において下御系や上御系地区の子どもたちが山車を引くことができてもよいと考えます。このような思いを念頭に入れ、今後立ち上げ予定の跡地利用検討委員会等でしっかり議論検討していきます。</p> |

| | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 校区再編時の6年生の担任の先生が大変だと思ふ。再編までにきちんとした準備をする必要がある。そういった場が準備委員会だと思ふが、早急にしていただかないと。それと、今から5年先に退職される先生中心に話し合うのではなく、明和町の学校をどうしていくのか、という話し合いが出来るようなメンバー構成を考えるべき。先生達の意識改革を早急にしていただくと有難いし、子どもたちや先生達が校区再編時に泣かずに済むように、お願いしたい。 | <p>校区編制の基本計画が完成すれば準備委員会を立ち上げ、令和8年度の新しい学校の開校に向けて様々な検討事項について協議していく予定です。準備委員会の中で学校間をつなぐような役割を果たすとともに、充実した準備委員会とするために、令和8年度以降の明和町における教育を支えていただけるような先生方を含め、PTAや地域の方々も一委員として入って頂き、より良い教育環境の提供ができるよう協議検討していきます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> これまでの説明会の存在を知らなかった。今後の説明会にも出席していきたいので、分かりやすく周知してほしい。 | <p>説明会については、自治会便の全戸配布や町ホームページ、LINE、twitter、防災無線と、様々な媒体を使って周知してきました。なるべく多くの方にご参加いただきたいので、今後もいろんな手法をとってしっかり周知できるよう努めていきます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 準備委員会のメンバーは明和町全域から選ぶのか、大淀、上御系、下御系の関係地区のみから選ぶのか。私は、第2期再編の際に参考になると思ふので全域から選ぶべきと思ふが。 今年の秋頃からスタートする準備委員会には、どんなメンバーを入れスクールバス等を検討していくのか。 | <p>準備委員会の委員については、主に再編小学校に関連する地域からの選定を考えていますが、通学路など再編対象となる地域以外にも関わってくるような内容も検討していくため、再編対象地域以外の方々にも一委員として入っていただきたいと考えています。なお、準備委員会には、学校関係者やPTA、地域の方々等を一委員として入っていただくことを考えており、その中で新しい学校のカリキュラムや校歌、スクールバスといった、様々な事項について議論検討していきたいと考えています。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> もともと4回の説明会の予定だったが突然、今回が最後と。他に早く検討を進めたいとの意見があったので、これで終わり。なぜそうなったのか。どなたがおっしゃったのか。いろんな意見を言ってきたが、まともな回答いただいていない中で、他の方から意見が出たから3回で終わると。何かずれている気がする。反対意見があるならば、何回も説明会をやってでも皆が納得してやっていった方が良く思ふので、スケジュールありきだけではどうしても不満に思ってしまう。 もともと第4回まで説明会を実施するとの話だった。早く進めてほしいとの声があったから今回で説明会を終えるとのことだが、4回目の説明会が終わった段階で、回数が足りないから次回も行わないと、という意見が出てくると思われる。2回目の説明会が終わった段階で足りないからもっと説明会を行わないと、という意見は中々出ないかと。 | <p>前回の住民説明会では、ハザード区域外へ新しい学校の建設及び1学年あたり複数クラスの教育環境の必要性を提示したところ、校区再編に関しては概ねご理解いただいたと認識しています。特に、校区再編の当事者となる就学前児童の保護者を対象とした説明会では、校区再編する中でスクールバスの運行や新しい学校の設備に関するご意見や、現状では有事の際に危険なので早く校区再編を望む声が多くありました。よって、準備委員会を早く立ち上げて次のステップに進むべきと考え、校区再編にかかる全体的な説明会は3回で終えることとしました。ただし、前回の住民説明会では、第3回の説明会を終えて令和3年6月に基本計画を完成させ、第4回の説明会で完成した基本計画を説明することとしていました。よって、基本計画の完成時期は前回の説明会での計画と変更ありません。今後は、準備委員会等の進捗をみながら、必要に応じて校区編制の対象となる地域への住民説明会を実施していきます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 校舎も老朽化している中、津波浸水区域に建っており、いつ地震が来るか分からない状況で、なぜ開校が1年延びたのか。校区再編を行う理由に地震もあるが、教育の質を上げる部分が一番のポイントなので、なるべく早い方が良い。タイトとなっているスケジュール部分に熱を入れ、何がダメなのか行政の方の思いを自治会へぶつけてもらったら、皆が協力するはず。 | <p>令和7年度の開校スケジュールは、何らかの工程で1カ月でも遅延が発生すれば、開校が1年先延ばしとなるタイトなものでした。直前で開校が延期となれば、子どもたちや保護者はもちろん、先生方など多くの方々の迷惑となるため開校時期を1年延期させていただきました。今後、準備委員会等により地域の方々にも一委員として携わっていただきながら、より良い教育環境の提供ができるよう協議検討していきます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 新しい小学校を造っていくプロジェクトチームのメンバーも、開校までの間に変わっていくのではないのか。どのような体制で進めるのか。メンバーが3人という部分に不安があるのと、なるべくメンバーは固定で進めてほしい。そして、出来るだけ透明感を持ってもらいたい。様々な自治会から意見等が数多く出ると思ふし、ある程度固定のメンバーで進めた方がこちらでも安心して任せられる。 地域住民が納得でき安心できる手続きで進めていただきたい。 | <p>町職員の人事体制としては、令和3年度から小学校区編制推進室を設置し合計3名体制で業務を進めています。役場全体の人事の関係があるので確実とは言えませんが、令和8年度の校区再編までは、その3名体制をできる限り変えないよう考えています。その中で、できる限り開けた行政を心掛け、地域の方々も納得のいく形で、可能な限り進めていきます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 進め方が根本的にずれてきていると感じる。一番始めの説明会では、合意形成を図るとのことだったので進めてきたと思ふが、質問を投げているのに回答が全く無く、その中でこの計画だけが勝手に作られている。一部の住民の意見だけが通っていて、ここで発言している方の意見が通っていないことがはっきり見える。合意形成の意味を考えていただき、この会議の進め方を見直さないと、どんどん遅れていく一方だと思ふ。このまま進めれば住民の反対意見を無視された状態で進んでいる。ここに集まっている方の意見をしっかり聞いて、反映していかないと将来たいへんな事になると思ふ。とりあえず、6月に計画を進めるのであれば早急に回答してください。そして合意形成を図りましょう。 説明が後出しにであり、明確でなく住民にとって分かりやすくない。説明会への出席をもっと働きかけて合意への道を作ってほしかった。 | <p>住民説明会は、ご意見等をいただくとともに合意形成を図る場として実施してきました。その中で、子どもたちにとって安全・安心かつより良い教育環境を提供していくため、ハザード区域外へ学校施設を移転し1学年あたり複数クラスの新しい学校を建設する前提からすると、頂いたご意見の中には反映できないものもあります。今後、準備委員会や跡地利用検討委員会では、学校関係者はもちろん、PTAや地域の方々にも一委員として携わっていただくことを検討しており、それに併せて校区再編の対象となる地域への住民説明会も継続して実施し、様々な方々と一緒に協議検討し進めていきます。</p> |

